

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	八頭町家庭教育支援チーム
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	八頭町 子育て支援センター
活動範囲	八頭町内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<p style="text-align: center;">5 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファミリーサポートセンター アドバイザー 2人 (内1人は家庭教育相談員と兼務)、 ・ 家庭教育相談員 1人、 ・ 図書館読み聞かせ等ボランティア 2人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他()
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に広報誌を発行し、事業の趣旨や内容をPRしている。 ・ 地域の居場所づくりとして、毎週水曜日15時から17時まで「ともだち広場」を開設し、宿題、クッキング、小物作り等をする他、花見・七夕・ハロウィン・クリスマス等、四季にまつわる年中行事を実施し子どもの交流を深めると同時に、保護者同士の交流と子育て等についての悩みが相談できる体制づくりに努めている。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌等の発行により、事業内容の周知が図られつつある。 ・ 「ともだち広場」により、子どもの居場所として定着してきた。
活動において苦勞した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、より多くの保護者が悩み・相談等を気軽に出来るような体制づくりが課題である。

今後の活動目標	・今後は、学校等と連携しながら子どもや保護者の現状や問題点の把握に努めながら家庭訪問などによる相談機会の提供にも取り組んでいきたい。
問合せ先	(担当者氏名・所属) 奥平 徹 ・ 八頭町教育委員会 社会教育課 (住所) 鳥取県八頭郡八頭町北山63番地1 (TEL)0858-84-1232 (E-mail)syakai-kyouiku@town.yazu.tottori.jp